

お客様の
声

安心して食べられる 昔ながらのおこしを提供



京おこし本舗 株式会社 江口製菓
代表取締役 江口 誠一 氏

所在地 ● 京都市南区上鳥羽戒光33
TEL ● 075-671-1318
FAX ● 075-661-2318
業 種 ● 菓子(各種おこし)製造販売

●根強いファンに愛される

当社は「おこし」を専門に製造しています。創業は明治40年、会社設立は昭和23年で、私は4代目となります。創業時は飴や八つ橋を製造し、土産物店や売店へ直接卸していました。従業員は家族のみで、生産量も多くはなかったと聞いています。戦後すぐにおこし専門メーカーとなり、やがて機械を導入して量産できるようになってからは、卸問屋を通してスーパーなど小売店で販売するようになりました。現在もこのスタイルですが、主な購買層が40歳代以上のため、年の若い利用客が多いコンビニエンスストア等にはほとんど並んでいません。

おこしは菓子のジャンルでいうと焼菓子なのですが、その中でも特に華やかさや派手さはなく、売場も少ないため、大量に売れることはありません。それでも昔からの根強いファンがおられて、ずっと買い続けてくださるから、当社の商売が成り立っていると思



▲人気商品の「味好み」(左)、「栗おこし」(中)、「黒糖」(右)

います。おこしの原材料は砂糖・米・小麦粉・澱粉・水飴など誰もが知っている昔ながらのものばかりです。原材料については日本国内産のものをできるだけ使用するようにしています。製法も昔のままで、消費者の方にとっては安心して食べていただける商品だと

考えています。そのため、派手さはありませんがお子さんのいらっしゃる主婦や年配の方々の支持を得ているのだと思います。

●新設備を導入して

設備貸与制度の利用は今回が初めてです。利用のきっかけは、取引金融機関からの紹介です。リース会社よりも良い条件だったことから利用を決めました。

今回導入した機械は「横ピロー包装機」です。ピローとは枕の意味で、この機械は一つ一つのおこしを文字通り枕型に個包装するものです。昭和60年代から使っていた包装機が老朽化し、パーツ交換や修理をしても長くは使えないため、最新の設備を入れることにしました。最新型に変えて良かったことは、作業中の音が非常に静かなため職場環境が改善されたことと、作業のスピードが速く効率化が進んだことです。今までの包装機のイメージがくつがえりましたね。

●今後の抱負

当社の商品ラインナップは昔ながらの栗おこしやピーナッツバターがメインです。最近では梅味や抹茶味などを製造し、昔の味を守りつつ、新しい味のバリエーションも拡げています。ただ、おこしはベースとなる米と小麦粉を砂糖と水飴で固めるため、どうしても甘味が前面に出てしまいます。例えば、からしなど辛い素材で味付けしても、甘味に負けてしまうのです。今後はこの甘味を抑えて、なおかつ甘味に調和する新しい風味の商品を増やしていきたい、若い年代にも客層を広げていきたいですね。

また、食の安全に消費者が不安を感じている時代ですから、安心して食べていただける商品ができるだけ安価で提供したいと思

います。私は京都の人間ですが、商売上の好きな言葉は近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」です。つまり、自分だけが利を得るのではなく、消費者や得意先も利を享受することで、世の中全体が良くなるという考え方です。滋賀県の得意先から教えていただいた時、とても良い言葉だと思いました。これをモットーに、今後も皆様に喜ばれる製品づくりに励みます。

【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 事業推進部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-323-5211
E-mail: setubi@ki21.jp



計る・包む・検査する

トータルソリューションのイシダ。

イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。



株式会社イシダ

■お問い合わせは

本社 / 京都市左京区聖護院山王町44番地 〒606-8392 TEL.(075) 771-4141

<http://www.ishida.co.jp>

京都府中小企業融資制度の充実・拡充のご案内

京都府では、平成21年4月から、世界的な金融危機の深刻化に伴う景気の急速な悪化により厳しい経営環境にある中小企業を支援するため、短期つなぎ融資の創設をはじめ資金繰り対策を一層充実するとともに、経営承継の円滑化を支援する融資、環境配慮経営や農商工連携にチャレンジする企業への融資等の創設・拡充をいたします。

京都府産業支援センターお客様相談室においても相談に応じていますので、お気軽にお問合せください。
(財)京都産業21ホームページでもご案内しています。 <http://www.ki21.jp>

1 経済変動・雇用対策融資(短期つなぎ融資)の創設(平成22年3月末までの緊急対策)
急激な経済環境の変化に伴う一時的・緊急的な資金需要や従業員の雇用を維持するためのつなぎ資金需要に対応する短期融資制度(年利1.9%)を創設

2 中小企業緊急資金対策融資の実施(平成22年3月末までの緊急対策)
国の緊急保証制度の利用者を対象とした、長期(10年以内)、低利(年利1.8%)の借換融資制度を継続実施

3 経営安定特別支援制度の実施(平成22年3月末までの緊急対策)
国の緊急保証制度の対象者以外の方でも、府中小企業融資制度の融資期間を長期化(10年以内)できる「原油価格高騰対策等特別支援制度」を名称変更し、継続実施

4 創業・経営承継支援融資の創設(創業支援融資の改編)
中小企業の経営承継の円滑化を促進するため、創業者向けに実施してきた制度を拡充し、経営承継時に経済産業大臣の認定を受けて事業用資産の買取等を行うための融資枠を創設(年利1.9%、融資期間10年以内、別枠で有担保2億円・無担保8,000万円)

5 農商工連携促進融資の創設
農商工等連携事業計画の認定を受けた中小企業が、計画に基づく事業を実施するために必要な資金を融資する制度を創設し、農商工連携事業の取組を支援(年利1.9%、別枠で無担保8,000万円)

6 環境経営促進金利優遇制度(京都ECOLレート)の拡充
KES、ISO14001等の認証取得等企業に加えて、京都府中小企業応援条例や「知恵の経営」認証制度の認定・認証を受けて環境ビジネスに取り組む企業にも金利優遇を実施(△0.2%)

(※)制度融資金利の引下げ

金融情勢の動向を踏まえ、平成21年4月1日から制度融資の金利を0.2%~0.1%引き下げます(上記は引下実施後の金利)。

【お問い合わせ先】 京都府産業支援センター お客様相談室

TEL:075-315-8660 FAX:075-315-9091
E-mail:okyaku@ki21.jp

未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…。
私たちの仕事は電子部品というタネを、
エレクトロニクスの世界に送り込むこと。
つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。
携帯電話、カーナビ、パソコン…。
ほら、ちょっと前に想像していた未来が、
もう今は実現されているでしょう？
私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。
小さな部品で、エレクトロニクスの世界に
たくさんの花を咲かせていきます。



未来を創る。
ムラタの部品が

Innovator in Electronics
muRata
村田製作所

株式会社村田製作所 本社：〒617-8555京都府長岡京市東神足1丁目10番1号 お問い合わせ先：広報部 phone:075-955-6786 <http://www.murata.co.jp/>

京都ものづくり若手リーダー育成塾

未曾有の不況の中、打開策として新分野への進出や自社の技術の強みを活かした新しい製品開発をお考えではありませんか。

当センターでは、このような新しい領域を切り開いていく役割を担う人材を育成するため、平成19年度から若手リーダー候補を対象とした育成塾を開催しています。この塾では、チームとしての製品開発に必要なリーダーの知識とプロジェクトの遂行に必要なリーダーシップを身につける「プロジェクト・マネジメント」と顧客・市場のニーズから独自の開発テーマを導き出し、様々な発想法で全く新しい商品イメージを創造する「製品コンセプト形成」の2つのグループワーク形式のセミナーを実施しています。

平成21年度も引き続き5月に公募の案内をさせていただきますので、ぜひ、ご参加ください。

平成20年度の実績概要

平成20年度は、20社23名の塾生が集い、新たに「学び」と「挑戦」を行いました。また、1期生との合同セミナーや交流会で、塾生同士の連携も生まれつつあります。



プロジェクト・マネジメント

◇プロジェクト・マネジメントとは

チームとは何か。チームでプロジェクトを遂行するメリットは何かなど、演習を通じて体験しました。具体的には、チームにおいてPDCAサイクルを展開するためにリーダーはどのような役割を担うべきかについて学習しました。

■プロセスを設計する

プロジェクトの目的確認から、事項計画作成までのプロセスを実際に演習し、プロジェクト計画を立案しました。

■コミュニケーションスキルを高める

「チームで成果を上げるために必要な要件は何か」について、ゲームを通じて体験し、その後、コミュニケーションの方法について学習しました。

■リーダーシップを発揮する

研修の内容を活かし、「チャレンジ促進委員会」として、プロジェクト発足会議のシミュレーションを行いました。



グループで話し合い、コミュニケーションスキルを高める



グループで、開発アイデアをまとめ、リーダーとしてプレゼンテーションをする

製品コンセプト形成

◇商品開発プログラム

商品を取り巻く3要素「ヒト・モノ・バ」を軸に、①顧客を意識した仮説をつくる ②自社が勝てる独自のテーマをつくる ③顧客が喜ぶ(欲しくなる)要素をつくる ④デザイン、設計、市場導入を考える の4つのステップでアイデアを絞り込む方法を学びました。

■顧客のイメージを絞り込む

どのような人を顧客とするのか明確にするために、特定の人の嗜好や生活シーンを想定し、写真を使ってイメージをつくりました。

■アイデア発想法にトライ

思考の軸から発想を広げるために、焦点法、逆設定法、ブレーンライティング法に挑戦しました。

■領域ごとに分けてアイデアを絞り込む

発想法で導いたアイデアを商品コンセプトとしてまとめ、最終的にバーチャルカタログにまとめました。



アイデアを具体的にバーチャルカタログ化する



成果をまとめ京都ビジネス交流フェアに出展

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
京都ものづくり若手リーダー育成塾事務局

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9491

E-mail:waka-juku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

品質工学研究会会員募集のご案内

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すことも重要ですが、その製品を低コストで製造上のトラブルも市場クレームも起こさせない、安定した設計・製造技術を開発することも大きな課題です。従来の対策では、品質特性のトレードオフにより、1つの問題を解決してもまた新たな問題が発生し、次々と対応に追われるケースが多く見られます。この「もぐらたたき」から脱却し、問題が起こる前に将来起こるかもしれない多くの問題の防止に役立つ、高品質と高生産性を同時に実現するための具体的な技術的方法論が品質工学です。

京都府中小企業技術センターでは、企業の垣根を超えて技術者が品質工学を学び交流する場として、平成7年から京都品質工学研究会を開催しています。会員が具体的な技術課題への適用事例について、研究・討論を行う参加型の研究会を目指しており、平成21年度も新たに会員を募集します。ぜひご参加ください。

「戦略的技術者」を育てる社会

平成20年12月15日に開催された品質工学講演会にて、品質工学会 副会長 原 和彦氏に講演いただいた概要をご紹介します。

品質クレームは何故起こるのか？

世の中では、航空機や電車の事故、自動車や家電のリコールなど様々な数え切れないほどの問題が起こります。このような社会的不祥事は何故起こるのでしょか。品質工学で言えば、信頼性設計と安全設計が不足しているということです。危機的状態にある企業の品質意識問題と考えられます。また、品質クレームが起こる主な原因には、日本の科学的思考の教育という問題があります。“1 + 2 = 3”という1つの正解を追求する教育では、市場において多くの選択ができる技術的思考が育ちません。また、市場のクレームにおいては、トラブル原因の94%が設計ミスであり、製造責任は6%に過ぎません。企業が市場に出す商品は、品質検査の合格品であり、それでもトラブルが発生するということは、合格品の品質レベルの「頑健性」に問題があるのです。すなわち、市場におけるノイズ(消費者の使用条件や商品の劣化条件等)に強い頑健な「信頼性設計」と事故が起きた時に被害を最小に抑えられる「安全設計」という考え方が欠如しているのです。品質工学においては、「如何にクレームを出さないようにするのか」の未然防止が大事で、その本質は、投入コストと品質損失の和である「社会的損失の最小化」にあります。

戦略的技術者を育てる社会とは何か？

品質工学では、「クレームの撲滅」「コスト半減」「開発期間の短縮」により開発の効率化を図り、コスト改善につなげるという「一石三鳥の効果」が狙いです。品質工学を導入し、「戦略的企業」になるためには、消費者の立場で考えられる「戦略的なマネージャーや技術者」を育てる「人造り」が必要です。

〈技術者は科学者ではない ～科学と技術は別物～〉

技術的思考とは、何のためにという「目的」の追求です。自然現象を利用し、無数にある知恵の中から経済的に最適な答えを探すことです。自然現象を解明して一つの真理を探究する科学的思考とは違います。

〈評価技術に強い技術者であれ ～専門技術だけでは駄目～〉

「技術テーマの選択」は、技術責任者の役割であり、技術者は決められた技術テーマに対して、顧客の欲しい機能を考えた上で理想機能を達成する「システム選択」を行います。そして、最適なシステムの創造のために、「専門技術」だけではなく、幅広い「評価技術」をもって最適な設計定数の選択(パラメータ設計)を行います。

〈あるべき姿を考える技術者であれ ～「原因追求型」から「目的追求型」へ～〉

「何のため」「誰のため」の仕事かということ意識し、顧客が欲しい機能(信号)、欲しくない機能(ノイズ)を考えて、開発設計段階で顧客が欲しい機能と欲しくない機能の比で顧客の満足度(SN比)を評価し、パラメータ設計で改善します。品質工学で大事なものは、「品質を改善したければ、品質を測るな」です。これは、品質問題の解決には、品質特性ではなく、顧客が望む理想機能で「機能性(機能の安定性)」を追求するということです。

〈ノイズに強い技術者であれ〉

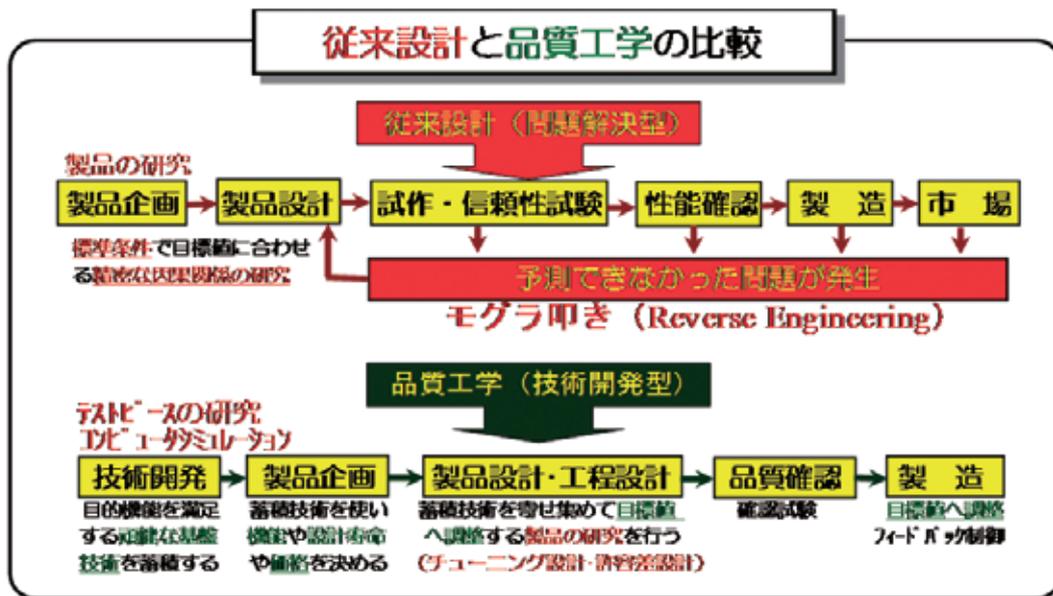
ノイズには、使用環境条件(温度、湿度、振動等)や劣化条件、品物間の製造ばらつきといった受動的なノイズやコンピューターウィルスなど能動的なものがあります。技術者は、こういったノイズに強い「良い商品」をつくらなければなりません。

〈「やり直しをせず」成果を出す技術者であれ〉

【品質工学における技術開発の3つの狙い】

- ・ 先行性 …………… 製品企画前に要求機能(基盤技術)の安定性を確保して、設計では目標値へのチューニングで済ませることとで他社よりも早く開発する。
 - ・ 汎用性 …………… 特定の商品ではなく、次の製品開発や同種の様々な製品に適用できるようにする。
 - ・ 再現性 …………… テストピースやCAEの活用で大規模生産(工場)や市場における結果との一致性(再現性)を高める。
- モノ造りにおいては、この3点全てを満たす技術開発が必要なのです。

問題解決型から技術開発型へ
—やり直しをしないモノ造り—



〈「試作・試験レス」の技術者であれ〉

従来の「寿命試験」や「信頼性試験」では、あらゆる条件で長時間かければ、規格に対する合否は判別できますが、市場における品質評価には役立ちません。そこで、品質工学では、CAEを活用したパラメータ設計で、市場品質の予測精度を高める「試作レス・試験レス・検査レス」の効率的な技術開発を行います。

〈「コストに強い」技術者であれ〉

品質の改善は、コスト改善という目的達成のための手段に過ぎません。したがって、品質を改善しなければコストは改善できません。品質とコストのバランスを考えることが重要で、商品品質(価値問題)と技術品質(損失問題)の区別が大切です。

技術品質の定義……品質とは、品物を出荷後、社会に与える損失である。

- ① 機能のばらつきによる損失
- ② 使用コスト(燃費や消費電力)による損害
- ③ 弊害項目(故障や公害)による損失

【安全設計の考え方 ～商品の寿命は永遠ではない～】

安全設計とは、「信頼性設計に頼るのではなく、事故が起きたときに被害を最小にする設計」のことです。商品はいつか壊れます。事故が起こったときに必要となるコストを事前に仮定しておいて、事故が起こる前に損害に見合った安全装置の設計を行い、被害を最小に抑えるというものです。

「胆識」をもった「ほんまもの技術者」であれ

知識・見識はもちろん必要ですが、胆識をもって上司や周りの技術者も巻き込んで、消費者の立場に立って成果を出すことが必要であり、従来からのやり方といった上司や周りの圧力にも負けずに日々研鑽することが大切です。そして、「斃(たお)れてのち已(や)む」に表される「懸命に頑張って全力を尽くす」姿勢こそが、「ほんまもの技術者」になれる条件だと思っています。

※研究会の詳細は、<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/rea/sem/qua> をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課 機械設計・加工担当

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497
E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成20年度第2回ものづくりベンチャー支援セミナー

遠心分離と沈殿の原理で驚異的な回収率を誇るエレメントレスフィルターを開発
～国内大手自動車メーカーが認めたコスト面や環境配慮に優れたエレメントレスフィルター～

ものづくりベンチャー支援セミナーでは、ものづくりに携わってこられたエキスパートの方を講師としてお迎えしています。今回は、産業廃棄物ゼロ・メンテナンスゼロ・ランニングコストゼロでありながら、微粒子のゴミを驚異的に回収するエレメントレスフィルターを自社技術で開発された株式会社industria(埼玉県入間市)代表取締役会長 高橋 喜一 氏の講演内容をご紹介します。



高橋 喜一 氏

ブランド「industria」立ち上げ～脱下請け宣言!!～

当社は、部品加工・溶接加工・磨き加工を得意とする下請け比率100%の企業として創業しました。ところが、独立3年後に取引先の諸事情から売上が急減しました。この時に自社製品の必要性を痛感し、自社製品開発を全社員に呼びかけましたが、これといった意識の盛り上がりには至りませんでした。しかし、入社してきた現社長である息子が、私に革新の息吹を吹き込みました。「このままでは、下請け企業のまま終わってしまう」という危機感から「下請け脱却」を提案し、オリジナルブランド化戦略を推進しました。当社の優れた技術をレイ・ヴィトンやグッチにも負けないような価値として認められるブランドに育てるため「industria」ブランドを立ち上げました。

オンリーワン「魔法のつつぽ」FILSTAR誕生の裏には

この頃、ある製薬メーカーから耐高温性滅菌用バルブの開発依頼がありました。これまでにバルブの製造など経験したことはなく、使う材料、設計、全て一からの開発で苦労しました。しかし、とにかく諦めないで努力した結果、あらゆる課題を乗り越えて完成させることができました。しかも、このバルブの改良型が自社製品の第1号となったのです。この成功は、自社の技術が確かなものであるという自信を深め、長年の構想だった水に関連する技術の開発と製品づくりを考えるようになりました。そんな折、新しく導入したガラス等を加工する機械で、切削粉がクーラントのろ過フィルターに目詰まりするという大きな課題に直面しました。この課題の解決こそ、構想してきた技術であり、自社用としての開発を決意しました。しかし、開発のためには全く新しい技術を必要とし、資金的にも苦しい挑戦でしたが、遠縁の技術者を招き、県の試作補助金を活用することで20μmのゴミまでろ過できる試作品が完成しました。それでも、ここで満足せずにさらなる機能向上を求めて、「遠心分離」と「沈降・沈殿作用」について研究しました。特に沈降・沈殿の過程で苦労しましたが、知人の流体力学専門家のアドバイスによって完成させることができました。しかも、想像以上の10μmのゴミまでろ過できたのです。今ではお客様のニーズに応えるため、広島大学と産学連携によって、より小さなゴミのろ過も可能な製品を開発しました。こういった自社の殻を打ち破る開発では、自社に足りないものは様々な連携を活用することが有効

です。当社では、「大学は研究開発に専念、企業はものづくりに専念」を徹底し、短期間での開発に成功しました。

マーケティングは大胆に

エレメントの交換が不要でコストの大幅な削減が可能なFILSTARは、実験的に設置した電機メーカーで好評を得て、出展した東京の展示会でも大きな注目を浴びました。しかし、この製品をどこに売れば良いのかというマーケティングの課題もみえてきました。この時、どうせ売り込むのなら日本一の自動車メーカーにと社内で意見が一致しましたが、そう簡単には認められません。次々と改良の宿題が出ましたが、1週間の期限ならば3日で、2日ならば徹夜で仕上げるといった具合に、1日でも早く結果を出す努力をしました。そうした真摯な姿勢が評価され、最終的にメインラインで導入されました。しかも、世界規模の品質管理に厳しい企業に採用されたことで、自社製品として販売する時にはスペック・価格が自然に世界標準となり、様々な業界の企業にも認められたのです。

industriaにしかできないものづくり

当社は大量生産ではなく、「industriaにしかできないものづくり」にこだわってきました。お客様の要求にとことん応えて、お互いに納得のいく製品づくりを追求すれば、それはオンリーワン製品の開発につながります。しかし、ものづくりへの挑戦は飽くなき技術への挑戦です。これで満足だという技術革新はありません。当社の技術が求められ、その挑戦が勉強になると考えるなら採算を無視してでも引き受けるとするのが当社の理論です。これこそが当社の強みなのです。

DATA

株式会社industria

代表取締役会長 高橋 喜一 氏 代表取締役社長 高橋 一彰 氏

所在地 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺2700

事業内容 industriaブランド製品の企画開発製造販売、各種装置の設計・製造、微細加工・溶接・磨きの受託加工

T E L 04-2934-8501

F A X 04-2934-8500

U R L <http://www.industria.co.jp/>

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画連携課 情報・デザイン担当

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497

E-mail:design@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成20年度実施「利用者アンケート」結果の概要

京都府中小企業技術センターにおける今後の事業展開の参考とするため、平成19年度中に当センターを御利用いただいた企業の皆様に対し、利用目的の達成度や御意見・御要望等をお伺いするアンケートを実施しましたので、結果概要をお知らせします。

今後も、企業の皆様の御意見、御要望を取り入れ、更なるサービスの向上を図り、よりお役に立ち、満足していただけるよう、職員一同頑張りますので、当センターをお気軽に御利用ください。

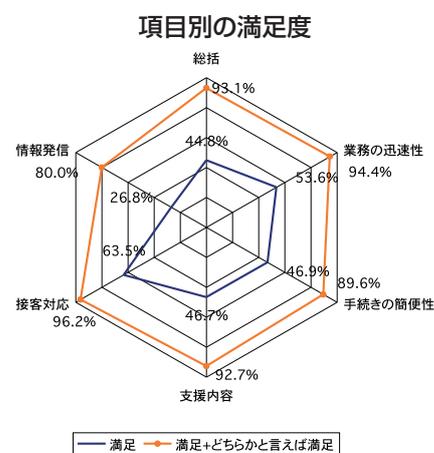
1 調査概要

- 調査対象 当センター利用者 1,100名(アンケートを郵送)
- 実施時期 平成20年7月18日～8月4日
- 回収率 352件(回収率 32.0%)

2 利用者の満足度

設問内容	満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満足	不満
利用の結果、期待どおりの成果が得られましたか(総括)	44.8%	48.3%	6.0%	0.9%
技術指導、分析、試験等の支援は速やかに行われましたか(業務の迅速性)	53.6%	40.8%	4.4%	1.2%
利用に係る事務手続はわかりやすいものでしたか(手続きの簡便性)	46.9%	42.7%	8.1%	2.4%
技術指導、分析・試験の結果への助言等の支援内容は適切でしたか(支援内容)	46.7%	46.0%	6.0%	1.3%
お客様に対する言葉づかいや態度はいかがでしたか(接客対応)	63.5%	32.8%	2.3%	1.4%
当センターの事業内容等について、わかりやすくPRされていますか(情報発信)	26.8%	53.2%	17.4%	2.6%

概ね、御満足をいただいているとの結果となりましたが、「情報発信」や「手続きの簡便性」について、今後改善を図っていく必要があると考えております。



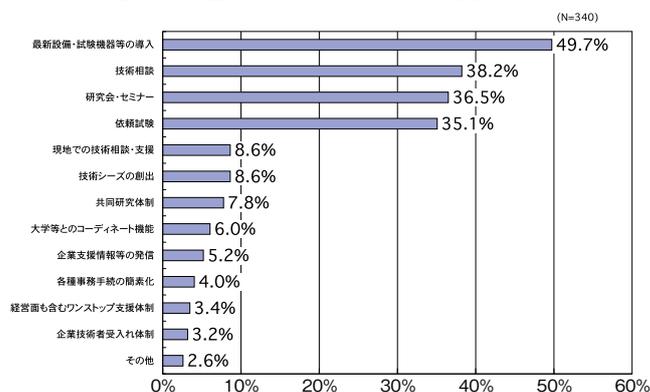
3 充実を希望する事業、サービス

「最新設備・試験機器等の導入」、「技術相談」、「研究会・セミナー」、「依頼試験」の充実を望む利用者が多く、今後も充実を図っていきたいと考えております。

詳細は、ホームページに掲載しております。また、御意見・御要望に対する回答も掲載しております。是非御一読をお願いいたします。

<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/que>

充実を希望する事業、サービス(複数回答)



【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画連携課 企画・連携担当

TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497
E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成21年度京都府の中小企業(製造業等)振興に係る当初予算の概要

京都府の平成21年度一般会計予算は、総額8,481億8,800万円(対前年比3.1%増)で、京都ならではの特徴を活かし「京都政策」を展開する“京都温め予算”がテーマとなっています。うち中小企業(製造業等)振興については、アクションプラン、中小企業応援条例、伝統と文化のものづくり産業振興条例、企業立地促進条例(略称)等に基づいた、活力ある京都型産業の創成と地域経済の活性化に向けた施策の中で展開していきます。

中小企業への総合的な支援

●中小企業サポートチーム運営費 10,000千円(新規)

厳しい経営環境下にある中小企業の経営安定等を図るためにオール京都体制の中小企業サポートチームを運営し、企業の課題に応じたきめ細やかな支援を積極的に実施します。

●中小企業活力向上支援事業費 110,000千円(新規)

経済不況により経営が圧迫されているものづくり中小企業の活力向上のため、支援体制を強化し、技術力向上や販路開拓の取組を強力に支援します。

●中小企業金融支援費 74,000,000千円

世界的な金融危機の深刻化に伴う景気の急速な悪化により、府内中小企業の経営環境は非常に厳しい状況にあることから、京都市と協調して中小企業融資制度の一層の拡充を図り、中小企業の経営安定や再生を支援します。

●地域ビジネスサポート推進事業費 77,499千円

中小企業者等に対する創業・経営革新支援をはじめ、地域経済圏の拡大やニーズの高度・専門・多様・広域化などへの対応や、地域の活性化を積極的に支援する機能を兼ね揃えた地域経済の広域拠点となる「地域ビジネスサポートセンター」の運営を支援します。

●中小企業経営承継支援事業費 5,000千円(新規)

経営者の高齢化が進み、企業数が減少している中小企業等の経営承継の円滑化支援や、商店街の空き店舗対策を推進し、地域経済の活力維持を図ります。

地域の特性に応じた新産業育成と企業誘致

●健康創出産業振興事業費 12,070千円

大学・関連企業の集積等、京都の優位性を活かし、次代の京都産業を牽引する健康創出(ウエルネス)産業を育成します。

●環境産業等産学公研究開発支援事業費 74,000千円

「京都府中小企業応援条例」に基づき、社会的ニーズに対応する技術課題への重点的な取組を促進し、技術開発成果を実用化して社会に普及するため、地球環境問題への貢献等、府の政策目的の達成につながる研究開発を支援し、併せて次代の京都経済の発展を担う技術革新に立脚した新産業創成を図ります。

●京都ITバザール推進事業費 58,881千円

学術・文化や産業の集積、京都ブランド等の特色を活かし、21世紀型産業の集積エリアを目指す「京都ITバザール構想」の具体化を目指し、IT関連等成長産業の誘致やベンチャー企業の育成も行うとともに、国のユビキタス特区の指定と連携した取組を推進します。

●グローバル産学公連携拠点推進事業費 3,000千円(新規)

京都が有する世界トップクラスの質と規模の研究者、研究インフラの集積等、国際的に優れた研究開発ポテンシャルを活かし、人材育成・基礎研究から事業化までの活動を産学公が有機的に連携して推進し、イノベーションが起こる世界的な産学公連携拠点の形成を図ります。

●中小企業研究開発等応援事業費 41,000千円

「京都府中小企業応援条例」に基づき、知事の認定を受けた新技術の研究開発等に関する事業計画のうち、特に新規性、成長性、波及効果等が認められ、他の中小企業のモデルとなる模範的なものについて、チャレンジする府内中小企業の創造的な取組を支援します。

●学研都市大学発ベンチャー支援事業費 7,740千円

関西文化学術研究都市の持つ優れた研究シーズを活用し、産学公連携による学研都市発の新産業を創出するため、地元市町と連携し、研究開発を行うベンチャーを支援します。

●京都映画・映像産業ルネッサンス事業費 19,500千円

京都の映画・映像産業のさらなる発展と地域の活性化を目指し、京都・太秦への映画・映像産業の集積と国内外への市場拡大を推進するためのマーケットプレイスを形成し、若手クリエイターの育成やビジネスチャンスの仕掛けづくりを図ります。

●北部産業技術支援センター・綾部推進事業費 20,000千円

中丹地域を中心とした北部地域中小企業の活性化を図るため、綾部市と共同で整備した「北部産業技術支援センター・綾部」において、中小企業の技術の高度化や産学公連携を通じた新たな分野への展開を支援します。

●北部産業活性化拠点・京丹後推進事業費 136,598千円

北部地域の地場ものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興を進めるため、ものづくり人材の育成・確保、地域の新しい産業興し、中小企業の総合支援の3つの機能を持つ「丹後・知恵ものづくりパーク」の運営を推進する。

●中小企業知的資産活用推進事業費 27,000千円

知的財産権やノウハウ、人材、技術力など目に見えない企業の強みである知的資産を活かす知的資産経営(=「知恵の経営」)を支援し、「知恵をまなぶ」「知恵をいかす」「知恵をまもる」事業を総合的に進め、中小企業の活性化を図ります。

●京都エコ産業推進事業費 34,400千円

中小企業の優れた技術など、京都ならではの強みを生かし、次代の京都をリードする成長産業としてエコ産業の育成を推進し、研究開発から事業化・販売開拓までをトータルにサポートし、中小企業のエコ化とエコ分野への進出を促進します。

●京都知的クラスター連携推進事業費 22,000千円(新規)

文部科学省「知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)」に京都市及び関西文化学術研究都市が選定されたことを契機として、オール京都の産学公連携体制により、ナノテクノロジーを基盤技術として環境技術開発・事業化等を強力に推進し、環境ナノテク部材の開発拠点化を図ります。

●課題対応型中小企業力向上人材確保事業費 96,000千円(新規)

新京都市ブランド産業分野における中小企業の競争力を高めるため、経営力・技術力・生産力の向上に繋がる人材確保を支援することで、中小企業の課題解決を図るとともに、雇用創出機会の拡大を図ります。

●離職者等再就職訓練事業費 530,398千円

厳しい雇用情勢の中、再就職に効果的な短期職業訓練を実施し、離職者等の再就職の促進を図ります。

●京都産業立地戦略21特別対策事業費補助金 750,000千円

企業誘致による安定した雇用、障害者雇用の促進や地域特性を活かした産業集積をさらに進めることを目的に、「雇用創出のための企業立地・育成条例(略称)」を平成19年度に延長・改正し、税の特例措置や「雇用のための企業立地促進融資制度」による低利融資制度と併せた本補助制度の効果的な活用により、府内のそれぞれの地域の立地条件や地域特性に応じた戦略的な企業誘致を推進します。

和装・伝統産業の振興

●匠の公共事業費 140,200千円

京都の和装・伝統産業は、日本の文化を支え、世界に誇りうる府民共有の財産であることから、「伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、和装・伝統産業の基盤づくり(人材育成・技術継承、新たなものづくりの推進、需要基盤形成のための普及啓発)を積極的に推進します。

●京もの愛用推進事業費 6,500千円(匠の公共事業費より再掲)(新規)

「京もの」の需要の拡大を図り、広く消費者への利用を促進するための新たなビジネスモデルであるカタログギフト方式の「京もの愛用券」事業を推進します。

●京もの工芸品産地等支援事業費 41,000千円

京都を代表する工芸品や和装の各産地が実施する情報の発信、PR等産地の活性化につながる取組を支援します。

●高校生きものチャレンジ事業費 7,300千円(匠の公共事業費より再掲)

将来の日本文化の担い手である高校生に対し、教育活動を通して、きものに親しんでもらうとともに、日本の伝統文化に対する理解を深めるなど、将来のきもの需要拡大につなげます。

●丹後織物ルネッサンス事業費 10,000千円

丹後地域の基幹産業であり、和装文化の伝統を守る上でも重要な位置を占める丹後織物産地の発展を図るため、地域に蓄積した高度な技術を活用した新商品の開発及び販路開拓の取組を実施します。

●京都イタリア中小企業交流支援事業費 3,000千円

イタリア・トスカーナ州との経済交流協定に基づき、京都の伝統的なものづくり産業をはじめとした中小企業の交流を進めることにより、京都のさらなる活性化・発展を図ります。

●「京の老舗」表彰事業費 2,000千円

京都府内において、同一業種で100年以上にわたり堅実に家業の理念を守り、伝統の技術や商法を継承し、他の企業の模範となってきた企業を顕彰します。

●伝統と文化のものづくり産業振興補助金 200,000千円

京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、低利融資制度である「伝統と文化のものづくり産業集積等促進融資制度」と併せた本補助制度を効果的に活用することで、伝統と文化のものづくり産業の集積等により振興を図ります。

受発注あっせんについて

このコーナーについては、事業推進部 市場開拓グループまでお問合せください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

市場開拓グループ TEL.075-315-8590

(本情報の有効期限は5月10日までとさせていただきます)

本コーナーに掲載をご希望の方は、市場開拓グループまでご連絡ください。掲載は無料です。

発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件	運搬等・希望
機-1	自動化・省力化機械部 品	切削加工・板金加工(アルミ、鉄、ステン等)	京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎用・NC旋盤、MC等関連設備一式	多品種小ロット (1~100個)	話合い	近畿圏	月末日メ 翌月末日支払、 10万超手形120日	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機-2	自動化機械のオートCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	オートCAD	話合い	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 10万超手形120日	継続取引希望
織-1	ウェディングドレス	裁断〜縫製〜仕上	京都市中京区 9600万円 130名	関連設備一式	10~50着/月	話合い	不問	25日メ 翌月10日支払、 全額現金	運搬片持、内職加工先持ち企業、特殊シンメロウ(かけ)可能企業を優遇

受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	MC・汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、ステン、チタン他)	半導体関連装置部品、包装機等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD/CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品~量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-2	小物MC加工(アルミ・SUS・鉄他)	産業用機械部品	京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話合い	京都・滋賀・大阪	継続取引希望
機-3	切削加工・溶接加工一式(アルミ・鉄・ステン・真鍮)	液晶製造装置・産業用ロボット・省力化装置等精密部品	京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品~中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアルゴン溶接加工までできる。
機-4	金属部品の精密切削加工(AL、SUS、SSなど)	工作機械部品、車輛部品、油圧部品、電機部品	京丹後市弥栄町 3600万円 20名	NC旋盤、マシニングセンター各12台	中~大ロット	不問	高品質、高い技術、豊富な人間性をモットーに、NC旋盤、マシニングセンターにより、車両・電機 機械など金属部品加工をしています
機-5	パーツ・フィード設計・製作、省力機器設計・制作		宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、半自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、その他工作機械	話合い	不問	自動機をパーツフィードから組立電気配線架台までトータルにて製作しますので、低コストでの製作が可能。
機-6	一般切削加工、ワイヤーカット加工	弱電部品のプレス金型設計製作及び一般部品加工	亀岡市 個人 1名	ワイヤーカット放電加工機、立フライス盤、卓上ボール盤、成形研磨機他	話合い	不問	単発取引可
機-7	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン挿入、ソレノイド加工、シールド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、ソレノイド、電線、コネクタ、電子機器等の組立	京都市下京区 3000万円 80名	全自動圧着機(25台)、半自動圧着機(50台)、全自動圧接機(15台)、半自動圧接機(30台)、アプリケータ(400台)、導通チェッカー(45台)他	少ロット(試作品)~大ロット(量産品)	不問	経験30年、国内及び海外に十数社の協力工場を含む生産拠点をもち、お客様のニーズに応えるべく、スピーディでより低コストかつ高品質な製品を提供いたします。
機-8	プレス加工・板金加工~アルマイト表面処理	アルミ材	八幡市 500万円 30名	プレス機、深絞り用プレス、油圧プレス機、自動アルマイト処理設備一式(硫酸皮膜・リン酸皮膜対応)他	話合い	不問	全て自社工場内で行い、お客様にアルミ加工技術をご提供したいと考えております。
機-9	SUS・AL・SS板金・製缶、電子制御板等一式組立製品出荷まで	SUS・AL・SS製品、タンク槽、ボイラー架台等、大物、小物、設計・製造	南丹市 1000万円 8名	ターレットパンチプレス、シャー各種、ベンダー各種、Tig・Migアーク溶接機各5台以上、2.8tクレーン2基、1t3基、フォークリフト2.5t2台、その他	話合い	不問	2t車、4t車輛、継続取引希望、単発可
機-10	MC、汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、ステンレス)	半導体関連装置部品、包装機、FA自動機等	京都市南区 1000万円 30名	三次元測定器、MC、NC旋盤、NCフライス盤、汎用フライス盤、CAD他	試作品~量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-11	プレス加工(抜き、絞り、曲げ、穴あけ)	産業用機械部品等金属製品	京都市右京区 個人 3名	トルクバックプレス35~80t、トランスファープレス、スクヤシャー、多軸タッピングマシン他	話合い	府内企業希望	継続取引希望
機-12	切削加工、複合加工	産業用機械部品、電機部品、自動車部品	長岡京市 1000万円 10名	NC自動旋盤、カム式自動旋盤	中~大ロット	近畿府県	小径・小物(φ1~20~600ミリ)、量産加工(500~50万個程度)
機-13	切削加工	産業用機械部品	京都市伏見区 個人 2名	NC立フライス、旋盤5~9R、フライス盤#1~2、平面研削盤等	話合い	不問	継続取引希望
機-14	切削加工	産業用機械部品	京都市下京区 個人 1名	汎用旋盤6尺、立フライス#1、タッピングボール盤、ノコ盤、ボール盤	話合い	京都市内	継続取引希望
機-15	プレス加工(抜き、曲げ、絞り、タッパ)	自動車部品、機械部品、工芸品、園芸品等小物部品	福知山市 300万円 8名	機械プレス15T~100T(各種)	話合い	不問	NCロール、クレードルによるコイルからの加工も可
機-16	精密切削加工(アルミ、鉄、ステンレス、真鍮、樹脂)	各種機械部品	京都市南区 1000万円 18名	MC、NC旋盤、NC複合旋盤20台	話合い	隣接府県	φ0.5~φ180までの丸物切削加工を得意としています。
機-17	ユニバーサル基板、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		京都市伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用具、チェッカー他	単品試作品~小ロット	京都府内	経験33年、性能・ノイズ対策を考えた組立、短期間に対応、各種電子応用機器組立経験豊富
機-18	産業用機械、小型制御盤の組立・検査、ケーブル加工		久御山 300万円 3名	静止型ディップ槽・ホットマーカ―・エア圧着機・電子機器工具一式	話合い	京都・滋賀・大阪	継続取引希望
機-19	プラスチック成形加工	カメラ用ストロボ小型部品他各種精密小型センサー部品	八木町 個人 3名	名機35t、32t日精70t射出成形機	話合い	南丹市以南 宇治市以北	経験30年。発注先要請に誠実に対応。継続取引希望

機-20	プレス加工(抜き・曲げ・絞り・カシメ他)	一般小物金属	久御山 個人 4名	機械プレス7t~35t	話合い	京都・滋賀・大阪	自動機有り
機-21	シーケンス制御設計(ハード・ソフト)・小型制御盤の組立・既設制御盤等の改造・機体配線		舞鶴市 個人 1名	ノート・デスクトップパソコン・手動式圧着(配線用)工具他	話合い	京都・大阪・滋賀	継続取引希望
機-22	プラスチックの成型・加工	真空成型トレー、インジェクションカップ・トレー等 ブロー成型ボトル等	京都市伏見区 1000万円 19名	真空成型機、射出成型機、中空成型機、オイルプレス機	話合い	京都・大阪・滋賀	金型設計、小ロット対応可
機-23	鋼材穴あけ・タッパ・切削加工、溶接作業	厚板ベースフレーム、工作溶接	久御山 1000万円 2名	ベッド型NCフライス2台、CO ₂ 半自動溶接機2台、天井クレーン2.8t、1.0t	話合い	京都・滋賀	短納期対応
機-24	制御盤・電気系BOX、ハーネスアッセンブリー、ロボットユニットなどの組立		亀岡市 3300万円 80名	クリーンブース(クラス5000)・各種メーカーの手動圧着工具(AMP・JST・HRSなど)	話合い	不問	継続取引希望・単発取引可 お客様の顔面から、または設計製図から部品の自家調達・組立・納品と伝票1枚で製品を請け負います。
機-25	自動化・省力化などの装置及び試作、試験ジグなどの設計・製作	FA自動機	亀岡市 3300万円 80名	CAD、旋盤、ボール盤、フライス盤、コンタマシ、平面研削盤、コンプレッサー	話合い	不問	継続取引希望 単発取引可
機-26	切削加工(丸物)、穴明けTP	自動車部品、一般産業部品	京都市伏見区 個人 3名	NC旋盤、単能機、ボール盤	話合い	近畿地区	
機-27	SUS・SS板金、製缶、溶接加工一式	工作機械部品、産業用機械部品、油圧ポンプ用オイルタンク、各種フレーム	宇治市 1000万円 9名	汎用旋盤、立型フライス、油圧式C型プレス、NC溶接機、走行用クレーン(2.8t)5台、半自動溶接機8台、アーク溶接機2台、アルゴン溶接機8台他	話合い	京都・滋賀	多品種小ロット可、短納期対応、運搬可能
機-28	電子回路・マイコンプログラム(C、ASM)・アプリケーションソフト(VB)・プリント基板の設計、BOX加工配線組立	電子応用機器、試作品、自動検査装置	京都市北区 300万円 2名	オシロスコープ3台、安定化電源3台、恒温槽1台	話合い		アナログ回路とデジタル回路の混在したマイコン制御の開発設計に20年以上携わっています。単品試作品~小ロット
機-29	振動パレール、回転パレール加工、穴明け加工	鋼材全般の切断	精華町 1000万円 8名	超硬丸鋸切断機9台、ハイス丸鋸切断機5台、帯鋸切断機7台	話合い		運搬可能、単品可能、継続取引希望
機-30	MC、NC、汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、銅、ステン他)	半導体装置、包装機、医療器、産業用機械部品	京都市南区 300万円 5名	立型MC2台、立型NC3台、汎用フライス5台、CAD/CAM1台、自動コンターマシン2台	試作品~量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能、継続取引希望
機-31	超硬、セラミック、焼入鋼等、丸、角研磨加工一式	半導体装置部品、産業用機械部品	京都市南区 個人 1名	NCフライス1台、NC平面研削盤2台、NCプロファイル研削盤3台、銀、ロー付他	話合い	不問	単品、試作、修理、部品加工大歓迎
織-1	仕上げ(縫製関係)、検査	婦人服全般	京都市北区 300万円 8名	仕上げ用プレス他	話合い	話合い	
織-2	和洋装一般刺繍加工及び刺繍ソフト制作		京都市山科区 1000万円 3名	六頭・四頭電子刺繍ミシン、パンチングマシン	話合い	不問	タオルや小物など雑貨類の刺繍も承ります。多品種小ロットも可。運搬可能。
織-3	縫製品裁断加工	ナイトウェア、婦人服他縫製品全般	綾部市 100万円 3名	延反機、延反台、自動裁断システム	話合い	不問	
織-4	縫製	婦人服ニット	八幡市 個人 4名	平三本針、2本針オーバーロック、千鳥、メロー、本縫各ミシン	話合い	話合い	継続取引希望
他-1	販促ツール(マンガ)の企画・製作	ビジネスコミック誌	亀岡市 個人 6名		話合い	不問	自社の研修、商品アピールに と用途は様々です。お気軽に お問い合わせください。
他-2	各種アプリケーション開発(設計~評価)、Webシステム、その他システム開発支援他	対応言語:C/C++、VC++、VB.NET系、Delphi、JAVA、PHP	京都市右京区 2000万円 50名	Windowsサーバー4台、Linuxサーバー3台、開発用端末30台、DBサーバー3台	話合い	京都・大阪、その他相談	小規模案件から対応可能
他-3	情報処理系 販売・生産管理システム開発、計測制御系制御ソフト開発	対応言語:VB.NET、JAVA、C/C++、PLCラダー、SCADA(RS-VIEW/IFIX)他	京都市下京区 1000万円 60名	Windowsサーバー10台、Linuxサーバー5台、開発用端末35台	話合い	不問	品質向上・トレービリティ・見える化を実現します。相談のみ大歓迎。

※受発注あっせん情報を提供させていただいておりますが、実際の取引に際しては書面交付など、当事者間で十分に話し合いをされ、双方の責任において行っていただきますようお願いいたします。



お知らせ
Management & Technology for Creative Kyoto

取引適正化無料法律相談のご案内

「代金が回収できない」「取引先が倒産した」「不良品の賠償問題」など取引先とトラブルが生じた場合、どう対処すればいいのか？法的にはどうなるのか？

京都産業21では、製造委託等取引に関する法律相談や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っております。お気軽にご相談ください。

- 相談日** ● 毎月第2火曜日(13:30から16:00)
- 相談場所** ● 京都産業21 会議室
- お申込み** ● 相談は予約制となっております。事前に下記までご連絡ください。
所定の申込書をお送りしますので、相談内容を記載の上、お申込みください。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail:market@ki21.jp

お問い合わせ先：●財団法人 京都産業 21 主催 ●京都府中小企業技術センター 主催

日	名称	時間	場所
April 2009. 4.			
21 (火)	●下請かけこみ寺巡回相 談	13:00 ~ 15:00	久御山町商工会
22 (水)	●下請かけこみ寺巡回相 談	13:00 ~ 15:00	北部産業技術支援センター・ 綾部
23 (木)	●下請かけこみ寺巡回相 談	13:00 ~ 15:00	丹後・知恵のものづくりパー ク

日	名称	時間	場所
May 2009. 5.			
19 (火)	●下請かけこみ寺巡回相 談	13:00 ~ 15:00	久御山町商工会
21 (木) 22 (金) 23 (土)	●パラメータ設計入門	10:00 ~ 17:00	京都府産業支援センター 5F
26 (火)	●下請かけこみ寺巡回相 談	13:00 ~ 15:00	丹後・知恵のものづくりパー ク
27 (水)	●下請かけこみ寺巡回相 談	13:00 ~ 15:00	北部産業技術支援センター・ 綾部

3月号の掲載記事に関するお詫びと訂正

3月号の「京都ビジネス交流フェア2009」京都「ぎじゅつ」フォーラム2009の記事の中で、森本取締役とありましたのは、森取締役の誤りでした。

深くお詫び申し上げますとともに、謹んで訂正いたします。

専門家特別相談日

(毎週木曜日 13:00 ~ 16:00)

○事前申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 お客様相談室までご連絡ください。

TEL 075-315-8660
FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日

(毎月第二火曜日 13:30 ~ 16:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループまでご連絡ください。

TEL 075-315-8590
FAX 075-323-5211

海外ビジネス特別相談日

(毎週木曜日 13:00 ~ 17:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。

TEL・FAX 075-325-2075

インターネット相談実施中!

京都府中小企業技術センターでは、中小企業の皆様が抱えておられる技術上の課題をメール等でお答えしていますので、お気軽にご相談ください。

▶ <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/consul/consul.htm>

メールマガジン「M&T NEWS FLASH」(無料)をご活用ください!

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆様の情報源として是非ご利用ください。

ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

▶ http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/mtnews/get_mtnews.htm

— 知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権! —

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 京都産業21 <http://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240
けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202
北部支援センター 〒627-0004 京都府京丹後市峰山町荒山225
TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

編集協力/石田大成社

京都府中小企業技術センター <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551
中丹技術支援室 〒623-0011 京都府綾部市青野町西馬場下38-1
TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341
けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202